

- 1 教科等名 総合的な学習の時間
- 2 単元名 セカンドスクールから考える武蔵野の魅力

3 単元の目標

武蔵野市民科
資質・能力

○知識・技能の習得	・自分たちの住む武蔵野と長野県安曇野の自然や産業を比較して、それぞれの街の特徴を理解する。 ・安曇野の方との触れ合いを通して、街の課題をどのように解決してきたかを理解する。	C1、C2
○思考力・判断力・表現力等の育成	・安曇野の街の課題を発見して、その解決方法を考える。 ・セカンドスクールでの学習を通して安曇野と武蔵野・安曇野の街の課題を発見しその解決方法を考える。	A2、B2
○学びに向かう力・人間性等の涵養	・セカンドスクールでの学習を通して、日常生活において武蔵野市民としてどのような心がけや他者との協力が必要なかを考える。 ・長期宿泊体験活動を通して、仲間と協力し合う態度を養う。	B3、C3

4 単元計画

小単元	ねらい	時数	主な学習活動・指導上の工夫	関連教科 関連団体（連絡先等）
小単元 ①	学習課題を設定するためのガイダンス	1	セカンドスクールの取り組みを始めるにあたってガイダンスを実施し、見通しを持って事前学習を取り組んでいくための意識づけを行う。	総合
	武蔵野と安曇野の特徴を調べて理解する。	6	セカンドスクールに向けた事前学習において、ICTを活用して安曇野の自然や産業などの特徴を調べて理解する。また武蔵野の自然や産業などの特徴も調べ、比較する。	総合、理科、社会 安曇野市資料
	調べた内容を発表し、情報を共有する。	3	安曇野と武蔵野の自然や産業などについて調べた情報を発表し、情報を共有する。	総合
	セカンドスクール本番へ向けての準備をする。	2	安曇野の自然や産業、歴史、名産品、食文化などについて、セカンドスクール本番で調査、体験するための計画を立てる。	総合、社会
小単元 ②	セカンドスクール本番において、安曇野市が街の課題をどのように解決してきたかを知る。仲間と協力して課題を解決する態度を養う。	6	セカンドスクール期間中に、宿舎の方や体験学習先の方との触れ合いを通して、安曇野市が街の課題をどのようにして解決してきたかを知る。セカンドスクールの体験を通して、仲間と協力して課題を解決する。	総合 社会 現地での体験学習 (安曇野ウォークラリーなど)
	安曇野市の街の課題を発見してその解決方法を考える。	3	セカンドスクールを振り返って、安曇野市の街の課題を確認し、班やクラスで協力してその解決方法を考える。	総合
	武蔵野市民として、自分たちの住んでいる街の課題を解決するために、どのような心がけや他者との協力が望ましいかを考える。	4	安曇野市での課題解決を参考に、武蔵野市民として、自分たちの住む街の課題を解決するために、どのような心がけや他者との協力が望ましいかを考える。	総合
	武蔵野市をよりよい地域・社会にするためにどうしたらいいかを考え、まとめて発表する。	10	セカンドスクール本番や事後学習で考え、まとめたことを発表する。	総合 学習発表会
小単元 ③				

合計時数 35 時間

5 単元の振り返り

成 果（児童・生徒の変容等）	課 題